

女性職員の 本音



人の名前は間違えないところ、上の立場の人間が対外的に面倒なことを率先してやる姿勢。まねしたいと思っている。

「誰でも最初は分からなくて当たり前。」知識の無さ=能力不足と思いき、いつも自信がなかったため、救われた。

現在活躍している女性職員に対して、仕事やライフスタイルについての本音を聞いてみました！

感化された又は有り難かった 上司の言動・その理由

「臨機応変に対応する。」当たり前の事だが、職場・職務によってやるべきことやタイミングが異なることになかなか気付けなかった。

「自分のいる環境を居心地良くすることが大事。」無理をしないまでも周囲の期待に応えるための努力が大事だと自覚できた。

「チャンスの女神には前髪しかない」(レオナルド・ダ・ヴィンチの言葉) 与えられた機会を大切に何事にも前向きに取り組みたいと思うようになった。

「一山乗り越えたね。」苦勞していたことを分かってくれていたのだと知り、気力が湧いてきた。

子供の病気等で他の人ほど労働時間を確保できていないことを気にしていた際に、「きちんと仕事をしていれば大丈夫。」と言ってもらえて有り難かった。

急に休まざるを得ず、上司に仕事を代わってもらった際、「あなたも将来誰かに同じようにしてあげればいいから。」と言われたこと

「人生丸くまあるく」と書いた名刺をいただき、行動する前に立ち止まるよう心掛けるようになった。

「やってみる。」との仕事の指示。先輩から、(当時は)女性に任せる例は少なく、反対もあったと聞き、後から一層感謝した。

「女性だけでなく、男性も介護など家庭の事情をいろいろと抱えているから、子供の看病等を理由に休暇を取ることを遠慮しないでほしい。」

「お礼は僕じゃなくて後輩に返してあげて。」先輩から受けたものを後輩に受け継いでいくことを教えられた。

「子供にとって母親はあなたしかいない、とにかく小さいうちはかわいがってあげなさい。大変な一時期を過ぎれば、必ずこれまで以上の仕事ができる。」

「『ふう』と言わなくても『かあ』が出てくる。」信頼してもらっていると嬉しく思った。

妊娠中、自宅安静を指示され出勤できず心苦しかったとき、「今大事なことを考えて。」と言われたこと。いずれ恩返ししたいと思った。

混乱の極みの部局に応援に駆けつけ、いきなり袋叩きにあいながらも、平然かつ冷静に事態の打開に奮闘されている姿

「家庭を犠牲にしても、人事評価は上がらない。」「お母さんに代わりはいない。」上司や先輩ママからの言葉に救われた。

実家の助けもなく、単身赴任で2人の育児をしていた他省先輩の存在。さらっと楽しそうに仕事をして、地域の信頼が厚い人だった。

「辞めないで続けてくださいね。」1年目の上司達からお声掛けいただき、思い返しては励まされた。私も後輩に伝えている。

女性職員の
本音

2

今までの困難・失敗例、
その乗り越え方

押さえるべきポイントを
把握しないまま、
場当たりに業務を
行った結果、成果が得ら
れなかった。経験を重ね
ることにより、克服

反省も大切だが、
十分反省した後は
気持ちを切り替えて
引きずらないように
している。

仕事を終わらせること
ばかり考えて、内容を余り
深く考えないで業務を
進めてしまった結果、上司
からの指摘・指導があり、
大きなトラブルとならずに
済んだ。

融通が利かず、相手に
迷惑を掛けていたこと
が後になって分かること
がある。気が付いた時点
で率直におわびする。

大事な会議の日に風邪
で喉をやられてしまい、
声が全く出ないことが
あった。以後体調管理に
は細心の注意を
払っている。

自分で全て抱え込まない
で周囲にSOS。自分だけ
で判断しようとするのは
大変。相談できる人を
増やすためにも積極的
に声を掛ける。

長野に転勤後、変化に
弱い発達障害の長男が
荒れ、育児への自信を
失った。療育施設に1年
程通い、親子共に
学び成長した。

業務の優先順位を誤り、
重要な仕事を後任者に
託してしまったこと。今は
予定表を常に見直して
自分の業務を把握
している。

多くの場合ミスは取り戻
せないの、自分がクヨ
クヨ引きずっても誰も
得しない。きちんと謝っ
たら、あとは事後処理や
改善に集中

資料の記載ミスが会議
当日判明、すぐに上司へ
報告して対応した。事前
の十分な確認と、迅速な
報・連・相が大切である
と実感した。

失敗の原因を分析し、
再発防止方法(自分の
性格やクセを考慮した
オリジナルの方法)を
編み出す。

忙しいとつい部下への
情報共有を忘れ、
自分で処理しがち。
立て込んだときほど、
状況を共有し、チームで
対応するよう心掛けた。

施策のプレゼンや、
議員説明での失敗。
結局、勉強不足が原因だった。
曖昧な点がなくなるまで入念
に準備するよう
心掛けている。

高地メキシコの
国際会議で体調不良。
会議はこなしたが、
ブラック・タイの夕食会は
ドレスを渡して大使館員
に代わってもらった。

失敗したことは
いつまでも覚えないこと。
部下たちにも“親より先に
死ななければ後は大した
問題ではない”と
言っている。

幹部の部屋に
間違い電話(涙)。
何事も経験と思い、
開き直る。

シッターさんと連絡が行き
違い、お迎えがなかった
ことがあった。予定変更等
もあって完璧は難しく、都度
丁寧に確認するより
他ない。

急に欠勤せざるを得な
かった時、上司に仕事の
状況を的確に伝えられ
なかったこと。報・連・相
をより密にするよう
心掛けた。

女性職員の 本音



休日の過ごし方

時間があれば旅行している。旅先での素晴らしい景色やおいしい料理に感動すると、また明日から頑張ろうという気持ちになる。

平日余り一緒にいられない分、1歳半の息子ととことん向き合って過ごしている。

たまった家事をこなしつつ、家族で近場の観光地に出掛けたり、公園で遊んだり。最近は子供の勉強に時間を取られることも。

現在は単身赴任で京都にいますので、神社仏閣、美術館や博物館などに掛かけ、京都を満喫している。

買い物

以前は趣味(ダンス)、今は1週間分の買い物や洗濯、時間があれば、家族で外出(遊園地や芋掘り等)をするようにしている。

うちでごろごろして本を読むこと

今まで家族優先だったのでお気楽単身生活を機会に散歩や読書など自分の好きなことだけ。家族にはその様子を写メして自慢

現在単身赴任中の夫と一緒に買い物に行ったり、ごはんを食べたり、メリハリのある日々を送っている。

身体のメンテナンスにリフレクソロジーを受け、おいしいものでお腹を満たし、ちょっとのお酒で気分を上げてリフレッシュする。

散歩、読書

子供たちと
思いっきり遊ぶ。

朝5時から夜20時頃まで全力で遊ぶ子供の相手で平日よりハード。子供の通院や買い物もできるだけ休日に済ませる。

夫と一緒に様々なワイン会に顔を出す。そこで出会う異業種の人たちと、ワイン談義で大いに盛り上がる。

1日目は昼寝をはさみつつ、たまった家事、歯科への通院、子供の習い事の送迎等をし、2日目は余力があれば家族と外出

平日行けない子供の皮膚科などへの通院。それ以外は子供連れでの外出(商業施設や公園など)

子供と体を動かして遊ぶ。遊園地やヒーローショーなどを一緒に楽しむ。時には子供を理由に自分がしたいことをする。

教会の主日礼拝に通っている。2週間に1度、故郷の介護施設に母を訪ねる。独立した長男を交えての家族の食事を楽しむ

子供のリトミック教室参加、子供と公園...など、子供と過ごす時間が最優先。空いた時間に家事を済ませる。

ヨガやスイミングでリフレッシュ。家族と出掛けて遊ぶ。子供のサッカーの試合の応援。料理の腕を振るい、実は料理が上手いアピール

共働きのため、休日くらいはずっと子供と接するように心掛けている。家族団らんを幸せに感じる時であり、仕事への活力の源